

かがやき通信

第10号

～八千代市政報告～

八千代市議会議員

山口いさむ



昨年12月の市議選では、3期目の当選をすることができました。これからも市民の声を市政に反映させるため邁進します。今年から以下の役職で活動します。

文教安全常任委員長 ・ 会派 新未来 代表

ホームページ <http://www.isamun.jp/>

ツイッター @isamuyamaguchi

かがやき通信

昨年12月の改選後、1月の臨時議会で教育委員会、生涯学習部、安全環境部を所管する文教安全常任委員会の委員長に就任いたしました。また、新たに会派 新未来の代表になり3月定例議会では委員会活動など本格的な議会活動を開始すると共に代表質問にも登壇し、選挙で市民に訴えてきた政策の実現に向けて本格始動を始めました。

< 3月定例市議会 代表質問の通告内容 >

1. 市長の政治姿勢

- ① 市議会改選を受けての市長の感想と議会とのスタンスについて
- ② キックオフ宣言と平成27年度予算案について

2. 地域問題

- ① 旧八千代台東第二小の跡地利活用について
- ② 八千代台東小の移転について
- ③ コミュニティバス（八千代台コース）について
- ④ 都市計画道路3・4・12号線（きぼう通り八千代台東5・6丁目部分）について
- ⑤ 八千代台東きぼう通りの歩道改修について
- ⑥ 八千代台東学童保育所の跡地利活用について

3. 教育問題

- ① 学習指導要領の改訂と英語教育の充実について
- ② いじめ問題といじめ防止対策推進法について

（裏面につづく）

<代表質問における主な成果>

山口いさむが行った3月定例議会の代表質問における主な成果・議論の一部を紹介します。

① 秋葉市長主導で行った事業仕分けは、その財政の支出根拠が法的に問題があると指摘！

代表質問において、秋葉市長主導で行った財政危機回避戦略（キックオフ宣言）の事業仕分けの支出が議会の審議をしなくてもよい予備費からの支出であったことから、山口いさむは「災害対応などの緊急な事業ではないのに、議決主義の原則を無視した予備費活用による事業仕分けは法的に問題がある」と指摘！またこの事業仕分けを最大限反映して作られた平成27年度予算案は、その手続きの正当性に大きな問題があると厳しく市長に迫った！

② 八千代台東学童保育所跡地の利活用は、高齢者の集える公共施設へと市当局が答弁！

山口いさむが以前より八千代台東地区の高齢者団体より要望を受け、要請してきた八千代台東学童保育所跡地の高齢者施設への転用が今回の代表質問で明らかになった。質問に対し市当局は「高齢者等の集える場所づくりのモデル事業を考えている」と答弁し、具体的には介護予防サロンを検討しているとのこと。高齢化率の高い八千代台東地区に新たな高齢者向け公共施設を誘致することができ、生きがい対策事業も含めた高齢者施策の八千代市の新拠点となる。

③ 山口いさむの提案を受け、小・中英語教育の充実のため英語教育推進委員会を設置！

大幅に英語の授業数増加が盛り込まれている2020の学習指導要領改訂を控え、ALT（外国人英語指導補助）の増員と共に以前より山口いさむが要請してきた英語教育における総合的な会議の設置について、教育委員会は「義務教育9カ年を見通した英語教育課程の編成と来年度に英語教育推進委員会を設置する」と答弁した。今後八千代市の総合的な英語教育の推進計画等有識者なども含めたこの会議によって検討され、八千代の子どもたちへの語学教育の充実と国際化の推進が図られることになる。

山口いさむの記事が毎日新聞(平成27年3月13日付夕刊)に掲載されました。

憂楽帳

急がば回れ

めっきり白髪が増えてはいたが、よどみない語り口は昔のままだった。ちょうど20年前。千葉県八千代市議会で、当選したばかりの新人6人が会派「かがやき」を結成した。当選回数や議会の先例に縛られず、市民感覚で活動しようという試みに、当時大学院生でバツを付けた山口勇さん(47)も加わった。

メンバーはベテラン議員にも遠慮なくものを言い、「長老支配」が当たり前になっていた議会運営に体当たりで挑んだ。しかし、保守的な政治風土は一朝一夕には変わらず、逆に市長選の政争に巻き込まれて、会派は任期途中であえなく分裂した。山口さん自身は1999年に県議への転身に失敗。一時は政治への情熱を失いかげ、市議に返り咲くまでに10年以上を要した。

対立が何を生んだか。昨年末、3回目の当選を果たした山口さんは今、合意形成に努める議会の実現を目指す。簡単ではないが、「最短距離ではない道のりを考える余裕は出てきました」とがった新人時代の教訓は、確かに生きています。

【中田卓二】

2015.3.13